

今後の研究会のあり方について

1 研究会概要

○「ともに生きる社会かながわ憲章」が目指す共生社会の実現に向けて、障がい当事者、ひきこもり経験者、学識経験者及び行政を構成員として、メタバース生きづらさの改善に活用できるのかを議論するため、「ともいきメタバース研究会」を立ち上げた。

(※敬称略)

氏名	所属・役職等
高野 元	県共生社会アドバイザー /NPO 法人 神奈川県難病団体連絡協議会理事長
岡村 岬	神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室会計年度任用職員 (OriHime パイロット)
トキワ	フリーライター/ひきこもり支援サイト運営事業(神奈川県青少年課委託事業)『ひき☆スタ』編集部 メンバー
奥出 直人	慶応義塾大学名誉教授 (メディアデザイン研究科)
増田 雅史	森・濱田松本法律事務所 弁護士
江口 清貴	神奈川県 CIO 兼 CDO
澤 紫臣	神奈川県顧問
岩崎 有吾	神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部青少年課長
小手 陽子	神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室共生担当課長

○3か月に1回程度開催し、現在、当事者の意見を踏まえ、R5 県事業（ともいきメタバース講習会・展覧会 [共生]、「神奈川県“つながり発見”パーク」(ひきこもり支援) [青少年] の方向性を中心に議論している。

2 今後の方向性

県事業の実施に伴い、見えてきた成果や課題を踏まえ、今後、生きづらさの改善に資するメタバースの活用について、さらに議論を深めていく必要があることから、メンバーを増やし、継続して研究会を開催することとしたい。